



# 産学公の森(企業の森・産学の森)推進事業

POSTコロナ時代においては脱炭素社会の実現や少子高齢化に対応したスマート社会の実現など持続可能な社会の構築に向けた社会課題解決型のビジネスモデルへの変革が必要です。経済社会が高度化するとともに複合化・複雑化する社会課題に対し、産学公がこれまでの現行制度や業界内の常識、個別企業の限界を超えてそれぞれの強みを持ち寄り、新たなビジネスを創出し産業競争力を高める取組や、成長産業を創出する取組を支援します。

【募集期間】令和4年**4月11日**(月)～**5月31日**(火)

【補助期間】交付決定日※～令和5年1月31日(火)

※事前着手が認められた場合は4/1～可。

## 補助対象者

京都府内に拠点を有する中小企業を代表企業とし構成企業又は大学等研究機関が1者以上参画する、**産産・産学連携グループ** ※構成企業には京都府内に拠点を有する大企業も参画可。

### I アーリーステージコース

#### 【対象事業】

目指すべきグループ事業像の設定や実現に向けた勉強会・研究会、セミナー、ワークショップ、市場調査等の調査、要素技術の可能性検証、技術研修等

【補助率】 **1/2**

【補助上限】 **120**万円以内

### II 事業化促進コース

#### 【対象事業】

試作品・サービス等の開発、テスト販売等による本格的な市場調査・販路開拓等

【補助率】 **1/2**(15%※)

【補助上限】 **100**万円以上  
**～2,000**万円以下

※土地造成費、建物建設費、量産設備は15%

### III 本格的事業展開コース

#### 【対象事業】

実用化に向けた応用研究・生産技術開発、量産設備投資(生産体制の構築、販売・サービス提供の拠点整備等)、それらと連動した販路開拓等

【補助率】 **1/2**(15%※)

【補助上限】 **2,000**万円超  
**～5,000**万円以下

※土地造成費、建物建設費、量産設備は15%

## 対象経費

(詳細は申請及び交付要領をご確認ください)

- ①旅費、②直接人件費、③材料費・消耗品費、④財産・備品購入費等、⑤外注・委託費、⑥大学等研究機関との受託(共同研究費)、⑦その他直接経費

## 提出先

(公財)京都産業21 事業成長支援部  
〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134 京都府産業支援センター内  
Tel:075-315-9425 E-mail:sangaku@ki21.jp

申請要領・様式等の  
ダウンロードはこちら



# ◆本事業で支援する社会課題と取組例

あくまでも一例であり、多数の支援実績がありますので、お気軽にご相談ください！

## 脱炭素



太陽光・風力など自然エネルギーに加え、日本が世界に誇る四季折々の豊かな生態系が有する多様な「機能」を活かし、環境負荷の少ない新素材、生産方法の開発やカーボンフリー新産業を創出する取組

## 少子高齢化



ゲーミフィケーション性があり、継続的な運動を促進するアプリケーションの開発や腸内菌叢の解析によるオーダーメイドのサプリメント開発などの健康寿命延伸に寄与するヘルスケア産業創出に関する取組

## スマートシティ



自動車・ドローン・ロボットの自律移動や遠隔操作、建物・道路などの管理、文化財保存など、共通基盤となる社会インフラの3Dデジタル化などの技術を持ち寄り、分野横断によって次世代社会インフラ整備に係るルール作りとモデル開発を行う取組

## POSTコロナ・アフターコロナ



環境中のウイルスを簡易・迅速に検査することができる装置の開発及びその装置によって取得したデータにより作成した感染症のハザードマップを配信するサービス事業を行う取組

## がん、うつ



産後うつを未然に防ぐことを目的とした、ママになる前から育児の専門家等に育児の不安を相談することができるプラットフォームサービスを行う取組

## 食料危機



植物・藻類・昆虫などの代替たんぱく質の技術開発を行う取組や、持続的・効率的な農業を可能にする圃場の土壌評価サービス・栽培計画の作成支援サービスの提供を行う取組

KYOTO DX HACKで  
課題発見！

## 教育DX



教育DX推進の鍵となる「教員」が、短時間で実践的なITリテラシーを身につけることができる新たな研修ツール等を開発し、学校教育におけるICT活用指導力向上及び業務の効率化の双方を目指す取組

KYOTO DX HACKで  
課題発見！

## 観光振興



双方向性・エンターテインメント性を持った情報発信サービスの開発やVR技術等を併用したEC販売等により、京都市外地域の一人当たり観光消費額の増加等に繋げる取組

KYOTO DX HACK・・・ITエンジニアらがオープンデータ等から京都の課題を提起するとともに、当該課題の解決に向けてデジタル技術を活用した新ビジネス案を生み出すアイデアソン

# ◆昨年度の採択事例

## Ⅱ 事業化促進コース 採択

テーマ：「CO2と水素からe-fuelを直接合成するメンブレリアクターの開発」  
イーセップ株式会社×京都大学

CO2と水素を原料として生成するe-fuel(合成液体燃料)については、合成の過程で余分な水が発生し反応を阻害することが課題であったが、水を効率的に分離できる小規模装置を開発。**大規模な合成のための設備が不要で、既存のガソリンエンジンやインフラをそのまま活用しながら、カーボン・ニュートラルな社会を実現！**

大手農耕機メーカーとの共同研究契約を締結！2025年の社会実装を目指します！



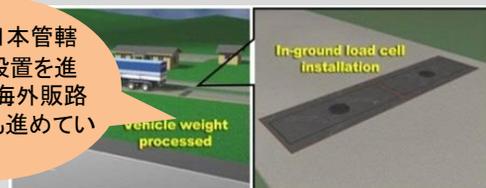
## Ⅲ 本格的事業展開コース 採択

テーマ：「走行車両重量測定装置 拡販体制の確立」

株式会社草川精機×株式会社センシング京都

走行中の車両を止めることなく、総重量及び軸重を計測することが出来るプレートを開発。本装置を導入することで、来たるべき**従量課金制度を用いた有料道路にも対応が可能となります！****過積載車両の通行を減らし、道路全体のライフサイクルコストの低減も可能！**

NEXCO西日本管轄路線への設置を進めており、海外販路への開拓も進めています！



原油・原材料価格高騰等で困りの企業様は、別途、『中小企業等緊急相談窓口』もご利用ください。

平日 午前9時～午後5時 TEL:075-341-0015 FAX:075-315-9091 メール: [okvaku@ki21.jp](mailto:okvaku@ki21.jp)